

第126号

2011 8. 5

ながの 社会福祉士会 NEWS

■発行：社団法人長野県社会福祉士会 ■会長：関 裕一
 ■事務局：〒380-0836 長野市南県町685-2 長野県食糧会館6F
 TEL：026(266)0294 E-mail：hope@nacsww.com
 FAX：026(266)0339 http://nacsww.jp/ ■編集：広報編集委員会

目次

巻頭言	1	社会福祉士受験対策	
東日本大震災・被災地支援活動に 関する募金に協力を	2	プロジェクトからご案内	6
ホームページの活用を！	3	地区だより	7～8
委員会だより	4～6	事務局便り	8
		編集後記	8

巻頭言

障がい者福祉の位置 ～ 支援者のやるべきこと～

会員No.3074 中村 修 (指定障害福祉サービス事業所エコファおかや)

東日本をはじめ、栄村・松本地震で被害に遭われた皆様にお見舞いと、犠牲になられた皆様に心から哀悼の意を表します。また、現地で活躍されている福祉士会の仲間をはじめとする多くの皆様のご活躍に感謝の意を表します。

災害の復興にまだ多くの時間がかかりますが、「普通」の生活を取り戻そうとする動きも出てきています。障がい者福祉においては障害者権利条約の批准に向けた準備が小さい記事ながら新聞に載ることが多くなってきています。

「障がい者制度改革推進会議」「障害者基本法の改正」「障害者の差別禁止法(仮)の制定」「障害者総合福祉法(仮)の制定」等々。最近では「障害者虐待防止法」が成立し平成24年10月に施行されます。しかしそこに横たわる課題として「誰が支援しているのか」ということがあります。障がいの概念形成は障害者基本法によって再検討されていますが、機能障害の状態と生活年齢に応じて膨大な法律を必要とする分野であり、福祉のみならず保健・保育・教育・労働・司法・建設等多くの行政等とやりとりすることが必要となります。そしてその法律・機関ごとに対象障がい者の範囲、専門家が存在します。

例えば、虐待防止においては、家庭における障がい児は「児童虐待防止法」の範囲になるが、保育園・学校への指導は「障害者虐待防止法」、65歳未満で介護施設に入所する者は「高齢者虐待防止法」で対応する。出生→「病院・医師」→「保健所・保健師」→「保育園・保育士」→「小中高校・教師」→「ハローワーク・障害担当」→「介護保険・介護支援専門員」など。

障がい者福祉は多種多様多分野の専門家との協働作業であり、障がい者福祉の支援者、特に社会福祉士の役割は、ご本人にとっては複雑な制度と機関を不安を感じさせないようつなぎ合わせ、一貫性を持った支援をしていくこと。支援者が不安に感じながら支援をしていけばご本人が不安になります。それを担保する仲間作り…社会福祉士会がその役割を果たせるのではないかと思いますし、持たないといけないと思います。

復興・制度改革など先行きが見えない中、今改めて感じています。

東日本大震災・被災地支援活動に関する募金に協力を！

災害対策本部長 関 裕 一

東日本大震災の発災から5ヶ月が過ぎようとしています。翌日の長野県北部地震や、6月30日の松本での地震と身近な場所での災害も起きています。地震等で被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

■定期総会での緊急決議／長野県知事・市町村長への申し入れ／その後の活動■

東日本大震災の翌週に開催された定期総会では「被災地支援に会員の協力について」の緊急決議をするとともに、米村への義捐金及び社会福祉士会の被災地支援活動に関する募金を緊急実施しました。その後5月の決算定期総会や広報でも呼びかけた結果、下記の募金が集まりました。

- 米村への義捐金として 22,180円
- 被災地支援活動に関する募金として 94,880円（7月25日現在）
- ※ 日本社会福祉士会の行う支援活動に40万円の寄付（5月総会で補正、6月29日に送金済）

3月23日には、長野県並びに市町村に対し、「大規模地震被災者の方々への支援について（ご協力の申し入れ）」を文書で提出し、これにより飯田市での遠隔地避難所での協力や、県・県社協との「絆プロジェクト」の業務が始まりました。

「絆プロジェクト」は、各圏域の保健福祉事務所、県社協と当会が連携して、被災者の相談援助に当たるというものでしたが、飯田・佐久・諏訪地域以外からはあまり要請がありませんでした。

飯田市からは、震災直後に飯田市が受入れた南相馬市からの100名近い避難者のために、避難所の運営に市の臨時職員として対応して欲しいという要請があり、南信地方在住の衛藤史朗、花田百恵、松見高良、山田兵治、各会員に被災者の方のニーズを把握し必要なサービスへの繋ぎや、就労の支援等も行っていただき6月末日で活動は終了しました。

■日本社会福祉士会からの要請に基づく支援活動■

一方、日本社会福祉士会では、宮城県東松島市・石巻市・南三陸町、岩手県大槌町・山田町の地域包括支援センターへの支援のために派遣を行っています。当会からは、大澤孝史、上田隆弘（2回）、神原美保子、若林喜久雄（2回）、北原俊憲、松原真理子、関裕一、伊藤芳子、渡邊庸介、林智子、青木崇、萱津公子、香西崇、小林俊之、岩澤純、各会員15名が支援活動に参加しました。（8月中派遣決定者含む）支援活動は、主にニーズ調査や仮設住宅でのコミュニティの育成等に係わる仕事が始まった地域もありました。支援活動は今後も続きます。地域包括への支援ですが、主に「人の話を傾聴する」活動のため、相談支援の経験者なら大歓迎です。積極的に参加いただければと思います。

日本社会福祉士会の支援は、原則手弁当の活動で交通費等の費用弁償ありません。長野県からは旅費だけでも3万円を超えます。そこで、6月29日の運営委員会では被災地支援活動の募金の中から、若干ですが交通費の補助することを確認しました。

当会・会員の「支援活動の募金」には是非ご協力いただきますようお願いいたします。

■災害支援登録と募金に協力を！■

現在、被災者支援活動の登録者は99人。引き続き登録を呼びかけます。

- 会員一人 1,000円（目標）
 - ゆうちょ銀行 口座番号：00590-7-97719
- 名義：社団法人長野県社会福祉士会 ※ATMで同行間の振込みは無料。振替用紙は有料。



ホームページの活用を！

広報編集委員長 宮本 雅 透

平成23年7月7日に本会のホームページをリニューアルしました。新しい情報をいち早く、多くの情報をお届けします。

投稿コーナー『輝努愛絡（喜怒哀楽）』も新設しましたので、是非ご投稿ください。よりよいホームページを築き上げていくために、会員一人ひとりのご協力をお願いします。

URLはこちら ⇒ <http://nacs.w.jp/>

※検索サイトで「長野県社会福祉士会」と入力しても旧ホームページが検索されることがあります。より多くの方にアクセスされることで、検索サイトの上位に位置づけられてきます。

②トップページ
サイト内で迷子になったら、ここをクリック。トップページに戻ることができます。

③法人概要
本会の概要はこちらをクリック。設立の趣旨や組織体制などを確認できます。事務局の場所もここをクリックすると地図が出てくるので便利！

④行事予定
本会の行事予定などスケジュールは、このページで確認できます。

⑤入会案内
正会員・賛助会員の入会案内を掲載。入会希望者にはこちらをご案内！

⑥輝努愛絡（喜怒哀楽）
会員の投稿コーナー。業務の中での「喜怒哀楽」（喜びと怒り、悲しみと楽しみ）に加え、輝努愛絡（輝き、努力している、福祉を愛し、連絡・連携・ネットワーク）について掲載。つぶやき、コラム、詩・川柳の他に写真投稿などもあり。投稿は事務局まで！

⑦社会福祉士会からのお知らせ
ホームページの更新など、新着情報はココでお知らせします。

⑧研修・イベント案内
本会主催で行われる研修やイベント案内の確認はココをクリック。チラシや申込書をダウンロードすることができます！

⑨委員会・地区活動
委員会・プロジェクト・地区活動などの情報をいち早くお知らせするページ！

⑩社会福祉士会とは
リレー形式で会員の写真を掲載しながら、顔の見える社会福祉士を目指します。次のボタンはあなたに…。

⑪会員へのお知らせ
本会の規程に加えて、社会福祉士倫理要綱・行動規範なども掲載。各種様式はこちらでダウンロードできます。

※メニュー内容等は、利用状況等により変更することがあります。

社団法人 長野県社会福祉士会
Nagano Association of Certified Social Workers
〒265-0852 長野県長野市南長町685-2 長野県食糧会館6F
TEL: 026-266-0294 FAX: 026-266-0339

お問い合わせはお気軽にどうぞ

一人ひとりが
その人らしく
続けることを支える
社会福祉士は
相談援助の専門職です～

3月11日午後発生した東日本大震災及び3月12日未明に発生した長野県北部地震及び6月30日午前発生した

社団法人 長野県社会福祉士会からののお知らせ

- 2011/07/21 2011年度 スクールソーシャルワーク基礎講座の申込期間を延長しました
- 2011/07/21 受験対策プロジェクトの『社会福祉士試験全国統一模擬試験』を掲載しました

研修・イベント案内
研修・イベント内容は、こちらをご覧ください。詳細はこちら▶

委員会・地区活動
委員会・地区活動は、こちらをご覧ください。詳細はこちら▶

社会福祉士とは
地域の中で、様々なネーミングで活躍しています。詳細はこちら▶

会員へのお知らせ
会員へのインフォメーション・各種様式は、こちらをご覧ください。

委員会だより

権利擁護センターぱあとなあながの

成年後見人養成研修運営委員長 金川 優子

《2011年度成年後見人養成研修が始まりました》

2011年度成年後見人養成研修（委託集合研修）初日は、波乱の幕開けとなりました。通年松本市で開催しておりますが、今年度は開催初日（7月3日）3日前に松本市南部の地震により、開催場所である松本市総合社会福祉センターが被害に遭い会議室使用が不可能になりました。5日間の日程がすでに決まっております、事実上変更困難な状況でした。ぱあとなあ事務局長の早急手配により運良く塩尻市交流センター会議室を確保無事開催できました。狭い会議室の中、暑さも加わり受講生の皆様には、大変ご迷惑をお掛けしました。研修終了までには、まだ3ヶ月もの期間がございます。受講生の皆様にご迷惑をお掛けすることなくより良い研修となるよう研修スタッフも努力いたします。受講生の皆様も課題など大変でしょうが全課程の終了を目指し頑張ってください。研修スタッフ一同応援致しております。

ぱあとなあ事務局長 小池 達也

《ぱあとなあ報告書による受任者支援の取り組みについて》

権利擁護センターぱあとなあながのでは、ぱあとなあ会員に義務付けられている、定期報告書を活用した受任者支援の取り組みを始めました。受任者支援体制を強化し、さらに質の高い後見業務が可能となることを目指します。

《今後の予定》

1. 福祉関係者のための成年後見制度活用講座

日時 10月31日(月)、11月1日(火)

場所 松本市浅間温泉 ホテル井筒

2. 成年後見制度相談会（県下10ヵ所）

日時 11月11日(金)

（詳細は県士会広報、HP等でご案内いたします。）

その他、ぱあとなあ会員懇親会、ぱあとなあながの全体会（死後事務についての学習会）を予定しています。（ぱあとなあ会員には別途ご案内いたします。）

地域包括ケア活動支援委員会

委員長兼虐待対応グループ長 春原 伸行

地域包括ケア活動支援委員会では、虐待対応グルー

プと現任研修グループで研修をこの秋に企画しています。地域包括ケアに関心のある方は注目です。

虐待対応グループ

昨年度に引き続き「高齢者虐待対応現任者標準研修」を10月12日、13日、21日に塩尻市で開催します。この研修は行政職員、地域包括支援センター職員等を対象に(株)日本社会福祉士会が厚生労働省からの補助を受けて開発した研修プログラムで行われます。

今年度はテキストが「市町村・地域包括支援センター都道府県のための養護者による高齢者虐待対応の手引き」に変更され、研修内容もより現場に即した実践的なものになっています。包括職員に限らず、高齢者虐待対応に関心のある関係者（介護支援専門員等）の参加をお願いします。詳細は同封の要綱をご覧ください。

現任研修グループ

現任研修グループ長 細野みどり

平成24年度からの実施に向けて「介護保険法の一部改正」の取り組みが行われています。

医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを切れ目なく、有機的かつ一体的に提供する「地域包括ケアシステム」を実現するため、参加型社会保障と新たに定義付け改正を行ったことが大きな転換といえます。

今後、地域包括ケアに関わる人すべてが活動の対象となることから、昨年までの「地域包括支援センター支援委員会」を「地域包括ケア活動支援委員会」に名称を変更しました。

11月18日(金)には、地域包括ケアを実現するために今必要なことは何なのか考え、これからの活かしていくための「地域包括ケア実務者研修」を開催予定です。地域包括ケアに関心のある方参加をお待ちしております。



障害者委員会

今年もやります。重心シンポ!

三村 仁志

障害者委員会では昨年、佐久において「どんなに障がいが高くとも、生きがいをもって充実した生活をしたい。この当たり前のことをどう実現し、どう支えるか。」をテーマにシンポジウムを開催いたしました。佐久大学の全面的なご協力の中、良い集まりとなりました。この集会の結果、ご家族の方たちのネットワークも進んだとの事です。

そこで、今年もやります。今回は諏訪が会場です。

「医療的ケアの必要な重度の方たちの暮らしをどう支えるのか？」は県内のどの圏域でも大きな課題です。各圏域の自立支援協議会でも中心的な話題ではないでしょうか。

今年の内容は、基調講演の中で「県内の重症心身障害児(者)の状況」を学び、その後「諏訪地域の現状」「成人施設での暮らしの紹介」「在宅での暮らしの紹介」などをシンポ形式で発表頂きます。

開催日：平成23年11月13日(火) 13：30から

会場：諏訪市総合福祉センターいきいき元気館
交流広場

参加費：無料

開催に向けて、障害者委員会が鋭意準備しております。より良い地域づくりのため我々は何をしたらよいのか？理解を深める機会に出来たら幸いです。皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

子ども家庭支援委員会

内田 宏明

子ども家庭支援委員会企画のスクールソーシャルワーク基礎講座（詳細はHP参照）の締め切りを延長しております。あと数名定員に余裕がございますので、お早めにお申し込みください。

また、以下を会員対象の公開講座といたします。1回あたり参加費は2,000円です。申し込みについては、kodomopost@net1.s-net21.ne.jpにメールをいただければ幸いです。

- ① 8月20日(土) 13：00～17：45 松本大学125号室
長野県教育委員会より行政報告、学校教育とSSW、SSW概論①（日本社会事業大学 専任講師 内田宏明）
- ② 9月3日(土) 13：30～15：00 松本大学125号室
SSW概論②（長野県SSWer 宮寄貞子氏）：
SSW現場報告
- ③ 10月22日(土) 13：30～15：00
松本市内or塩尻市内
SSW概論③（長野県福祉職 丸山昌子氏）：長野県の子どもの福祉行政

☆イベント案内

シンポジウム「災害支援とソーシャルワーク」

～3. 11東日本大震災の中でソーシャルワーカーはどう動き、今後何を期待されるのか～

- ・内容：この未曾有の大震災に際し、日本社会福祉士会では岩手県、宮城県の地域包括支援センターに人員を派遣し、支援にあたっている。また、岩手県社

会福祉士会のスクールソーシャルワーカー養成に関して、支援を行っている。そして、今後も甚大な被害が続いてしまうことが予測される福島県に対して、何をなすべきなのか。人類史上においても例を見ない危機に対して、ソーシャルワーカーはどう向き合うのか。原発事故による放射能被害について、焦点を当て、深く考えていきたい。

・日時：10月16日(日) 13：00～15：00

・場所：松本市浅間温泉、神宮寺ホール

・シンポジスト

高橋 卓志 氏（神宮寺住職）

山下英三郎 氏（日本スクールソーシャルワーク協会会長、日本社会事業大学名誉教授）

鈴木 庸裕 氏（福島大学大学院教授、福島県スクールソーシャルワーク協会会長）

・参加費：会員500円、非会員1,000円

・申し込み：kodomopost@net1.s-net21.ne.jpに会員番号、氏名を記入して申し込みの旨を送信ください。当日受け付けも致します。

第6回福祉まるごと学会プロジェクト

平成24年3月24日(土)、松本周辺を会場に「福祉まるごと学会」を開催します。詳細については、今後HPにてご案内致します。

研修委員会

研修委員長 雅楽川 政彦

■学びの情報満載！

研修委員会では、共通基盤研修、実習指導者講習会、福祉従事者のスキルアップ研修、講師派遣事業等の情報を本会HP「研修・イベント案内」「研修委員会」に掲載していきます。

開催要項、申込書も簡単にダウンロードでき、メールでの申し込みもOK!!

学びたくなったら、スキルアップ情報が欲しくなったら、本会HPをチェックしてください。

・共通基盤研修

8月6日(土) 「社会福祉士がとらえる福祉経営」

9月25日(日) 「社会福祉士がとらえる相談援助」

・スキルアップ研修《内容：コミュニケーション、ファシリテーション、福祉の広報戦略、PC技スキルアップ》(予定)

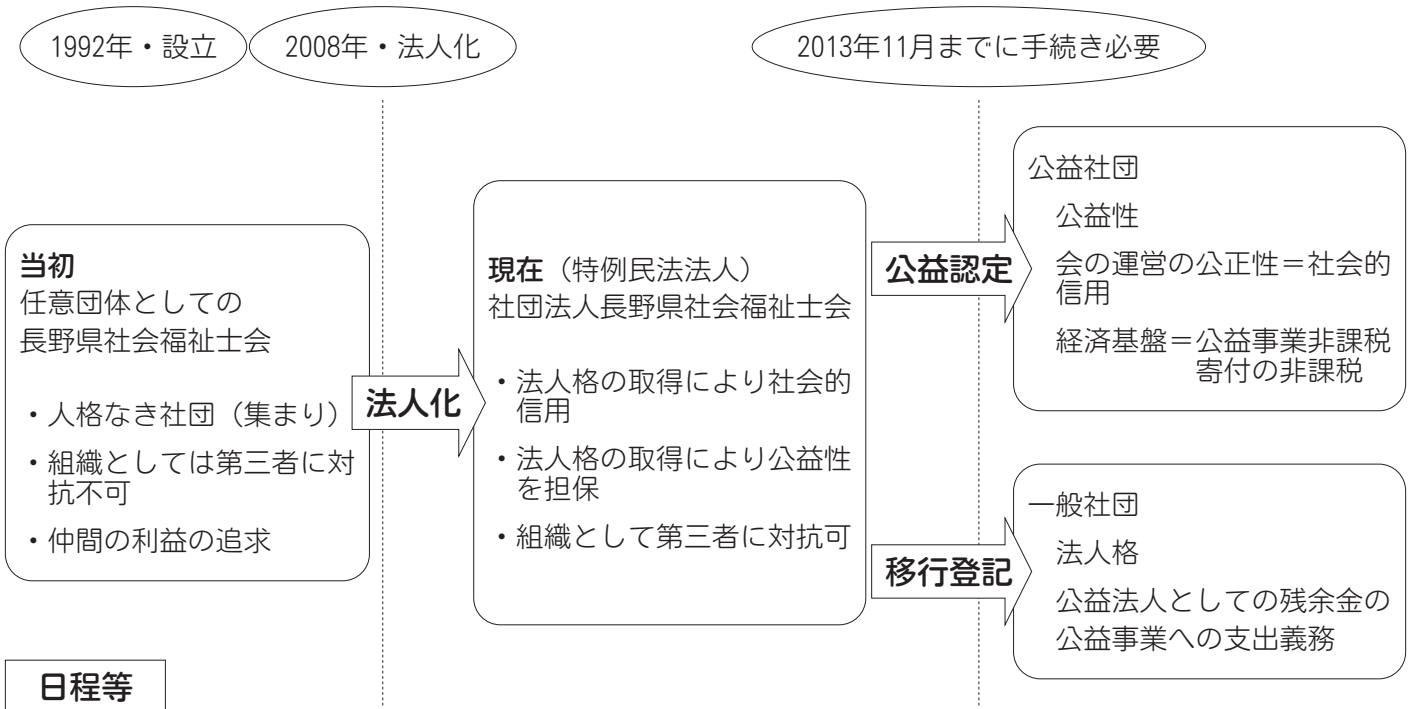
・実習指導者研修12月3日(土)～4日(日)



法人移行検討委員会

担当理事 若 林 喜久雄

法人移行に向けての流れ・作業



日程等

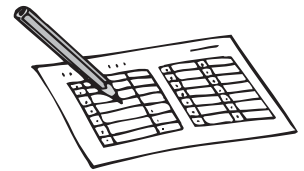
- ① 方針の決定 (将来的には「公益社団」。当面「一般社団」?)
 - ② 現状分析・事業仕分けと、定款規則等の調整&活発な議論
 - ③ 公益認定又は移行登記
- ※ 認定・移行期限：2013年11月。2012年度5月総会での決定を目指す。

～社会福祉士受験対策プロジェクトからご案内～

受験対策プロジェクト長 高岡久章

◆ 2011年度「社会福祉士試験全国統一模擬試験」の開催について

- ★ 期 日 2011年10月10日(月)
- ★ 場 所 長野大学 (上田市下之郷658-1 TEL0268-39-0001)
- ★ 定 員 200名
- ★ 日 程 受付は9:00から、試験は10:00~15:30 (昼食休憩含む)
- ★ 受講料 6,500円
- ★ 申し込み・問い合わせ 県社会福祉士会事務局まで

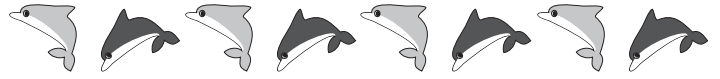


☐ 今年度、受験予定の方が身近にいたら会員さんから声掛けをお願いします。試験の詳細については県社会福祉士会HPをご覧ください。

◆ 新人社会福祉士の基礎講座について

☐ 各地域で活躍中の新人社会福祉士の皆さん (資格取得後数年程度) を対象とした講座を受験対策プロジェクトで検討中です。講座の内容について、ご意見、ご提案を県社会福祉士会事務局までお寄せください。

地区だより



東信地区

◆上小ブロック

青木 靖志

上小ブロックでは、下記のとおり学習会を開催いたします。お忙しいとは思いますが、大勢の皆さんの出席をお待ちしています。

【学習会】

日時：平成23年8月22日(月) 19:00~20:30

場所：ベルポートまるこ東

内容：「施設内虐待の実態」

講師：社会福祉法人依田窪福祉会 依田窪特別養護老人ホーム施設長 萱津 公子 先生

なお、新ホームページにも掲載しておりますので、委員会・地区活動をクリックし、各地区活動で詳細をご確認ください。

北信地区

飯島 政光

北信地区のページでは、地区学習会の予定及び実施報告などを中心に掲載し、会員のコミュニケーションの場所にして行こうと考えています。

例えば、6月25日開催の基礎研修では、倫理綱領について前運営委員の林部さんからお話しいただき、その後開催した地区学習会では、ぱあとなあながの北信地区前運営委員の渋沢さんから社会福祉士としての倫理観と価値観について、日常業務等に照らして、わかりやすくお話しいただきました。

参加者アンケートでは、倫理、価値について原点に戻り考えを整理できた。などの感想が多く寄せられました。

こんなイメージで活用していきます。

中信地区

祝！新ホームページ公開☆☆

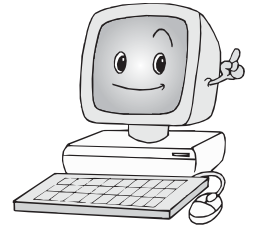
中信地区運営委員

：横山昌由、香西崇、三村仁志

きれいで、使いやすいホームページが公開されました。これから、地区の情報や委員会の情報を担当が各地から更新できるようになるようです。

さて、中信地区でもこのツールを有効に活用していきましょう。学習会の情報はもちろん、地区活動・交流会（飲み会？）の情報もアップできれば良いですね。また、会員の皆さんの情報発信にも活用できればと思います。

このホームページ自体が会員相互の交流の場になれば、ネットワークが進むのではないのでしょうか。皆さんのこまめなチェックと情報をどしどしお願いします。



南信地区

◆上伊那ブロック

伊藤 直哉

●新しい情報をすばやくキャッチ！

学習会や研修会等の案内は、県士会の新HP「地区活動」にどんどん掲載していきます。

新HP「地区活動」の定期的な確認をお願いします。

●通信員募集！

上伊那ブロックでは、県士会ニュースの作成等窓口となっていただく“通信員”を募集しています。

事務局まで TEL026-266-0294

上伊那ブロック運営委員 伊藤直哉



◆諏訪ブロック

「発達障がいについての知識を深める」

小川 明子

『発達障がいについて（講演）』と、AD/HDの世界をバーチャル体験を（バーチャル体験協力：株式会社 ヤンセンファーマ）7月9日(土) 13:30から14:00まで、交代でAD/HDの世界のバーチャル体験をした後、信濃医療福祉センター：滝脇 裕美 作業療法士に発達障がい児の理解と援助という内容で講演いただきました。

障がいの分類や診断名ではなく、関連してくる様々な要因や、本人の状態にどう対応していくか、特性について学ぶことで関連付けて考えやすくなったように思います。（諏訪ブロック学習会報告）

◆南信州ブロック

7月学習会報告

栗畑 孝弘

南信州ブロックでは、7月21日(休) 午後7時からさんとびあ飯田で学習会を開催し、会員12名の参加がありました。

今回の学習会では、飯田公証役場から、公証人の岡村幸治氏をお招きし、公正証書や遺言の効力や重要性、公証役場で行われる任意後見契約の内容等について、具体的な事例をもとにご説明いただきました。

質疑応答の中では、公証役場で任意後見契約を結ぶ際、知的障害をもつ方の判断能力を、公証人がどう判断するかが論点となり、活発な意見交換がされました。

公正証書と遺言について理解を深めることができた他、今後、任意後見制度の拡充においては、公証役場

と社会福祉士との連携が大変重要であることが明らかとなり、大変有意義な学習会となりました。

※本会HP「委員会・地区活動」から「南信州ブロック」のコーナーをご覧くださいと、4月・6月の学習会報告も掲載されています。



事務局便り



◎ 入会状況 (平成23年6月末現在)

* 会員数：831名 * 新入会員累計：81名 * 入会率：33.13%

本会賛助会員紹介

(社福) 依田窪福祉会様、(社福) 恵仁福祉協会アザレアンさなだ様、(社福) みまき福祉会様、
(社福) エマオ会ケアハウスエマオ様、小松和茂司法書士事務所様、(社福) 大樹会ベルポートまるこ様、
(有)筒井書房様、(社)長野県看護協会様、(株)学宛社様、特定非営利活動法人タウンケア浅間温泉様、
(社福) 大樹会レポートあおき様、(社福) 睦会やすらぎの園様、(株)青山様、野澤貞人様、
(社福) かりがね福祉会様、医療法人丸山会様、(株)わかまつ様、(有)長野プリントサービス様、
丸大食品株式会社様、新日本法規出版(株)様、長野大学様、日本加除出版(株)様、(社)茅野市訪問看護センター様
(※受付順)

編集後記

6月に植えた小さかったフウセンカズラとゴーヤが、太陽を遮る緑のカーテンとして大きく成長しました。一日々の成長は目に見えなくても、日々の積み重ねの大切さを実感しています。

今年、本会のホームページがリニューアルされました。基調は「幸福感」「健康」「愛」などを表すピンク色。広報編集委員会では、様々な意見を交わし、アイデアを出し合いながらホームページのデザインを決めました。このホームページを通じて、多くの情報を伝えていくことができると大いに期待しています。充実したより良いホームページに成長させていくためには、会員一人ひとりの協力が必要となります。本会の顔となるホームページになるようにしていきましょう。

併せて、本広報紙を充実するため、今後取り上げてほしい特集などがありましたらご意見をお待ちしています。

広報編集委員会一同

